




平成30年2月23日

軽井沢町議会
議長 市村 守 様

遠 山 隆 雄 

研修報告書

1 研修日時・場所

平成30年2月5日（月）10:00～12:30

TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター会議室
（東京都中央区京橋1-7-1戸田ビルディング）

2 講師

樋渡 啓祐（樋渡社中 founder&CEO）

・前佐賀県武雄市長 ・（一社）全国空き家バンク推進機構理事長

3 研修内容

委員会質疑で指摘すべき ポイント1 総務編 10:00～12:30

「これからの財政運営」

「これからの公務員の働き方」

「起債と基金のあり方 等」

◎質問を受けてきた者としての本音

- ・一番楽だったのは、議員が自分の意見ばかり質問すること。
- ・優れた議員は、「最初の質問」と「途中の質問」と「最後の質問」と同じ質問をしてきてそこで最初の答弁と違うじゃないかと言ってくる。
劇場型の議会は大変だったけれども、面白かった。
- ・つまらないと思った質問は、例えば道路の総延長はいくらですか？とか**基本的な数字**を聞いてくる議員は、職員がバカにしていた。
だから議員は「べき論」を質問しなければいけない。
「～するべき」・「～しないべき」を問わなければならない。
そういう**提案型**の質問は大変だったけれども、面白かった。
あと、「旬の話題」の質問は良いと思う。「今日の新聞に載っていたことですが」
とか「今、国政で問題になっていることですが」とか「旬の話題やタイムリー」なこと。

◎議員の質問になぜ執行部は動かない

- ・質問そのものに具体的な内容がないから。この議員はいったい何を言いたいのかわからない質問。
- ・行政がやろうとしていることに関して質問したものについては動く。しかし、「全く行政に関係がない」「行政が考えていない」「行政がしたくない」ことを質問されても動かない。日頃から行政が進めるところを察知していなければいけない。
- ・だいたい動かない質問は「独りよがり」の内容が多い。これはダメ

※日頃の議員活動は大事で、質問の時だけ偉そうなことを言っても何も動かない
「職員は議員の背中」をよく見ている。

◎質問のコツ

- 「コンパクトにインパクト」とにかく長々と説明しないこと。
- もし説明が必要な場合でも短くまとめる。そのうえで、質問を小刻みに繰り返すこと。そうすることでライブ感が出てくる。
- とにかく一問一答にすること。例えば、三つ論点があっても一緒に質問するよりも一つ一つ切り分けて質問する。
- 当然のことながら、答が予想できる質問にすること。どこに飛んでいくかわからない質問には答えようがない。

◎まとめ

- ・専門用語を持ち出して質問するけれど、住民にとって分かりやすい質問でなければ行政は動かない。専門用語や、制度を知っていることを自慢しての質問は良くない。
- ・数字の説明を行政に求めるのは良くない。道路延長はいくらですかとの質問はダメ。

これからの財政運営

国における翌年度予算の意思表示となる、経済財政諮問会議（例年6月上旬頃）の結果が発表され内閣府のホームページに掲載されるので国の動向を把握したい。一部別添

財政関連質問の視点

1. 持続可能な財政状況にあるか。
(財政の健全化)
2. 事業の成果は上がっているか。
改善すべきことはないか。
(施策の効果と改善)
3. 違法不当な収入・支出はないか。 議員は議決している
(財務・財産管理・会計処理の適正性)

○持続可能な財政状況にあるか。

*決算カード、財政状況資料集から中期的な財政計画の作成・公表と説明について問う。

- ・人口減少時代は税減収時代でもある。
- ・超高齢化は社会保障費の急増時代である。
- ・その認識のもとに中長期の財政運営計画を策定する必要があるのではないか？

行財政計画を見て、指摘できるよう検討する。

※即効性のある有効な方策はないことを確認。 しているがどのように考えるか？

長期的な方向性を明確に示す予算が求められる。

(例： 人件費改革、公共施設改革、事務効率化等)

○財政運営が厳しい場合

- ・どこに課題があるか？

経常経費分析表で類似団体と比較して、課題の経費を特定する。

人件費の場合・・・定員管理の適正化、事務の合理化、民営化

物件費の場合・・・公共施設の合理化(委託が多い)、広域化

公債費の場合・・・公共事業投資の抑制

○利用者負担の適正化を問う

- ・公共施設の運営コストを公表すること
- ・ふさわしい単原則を設定すること。

○税の徴収率のアップを問う

- ・県内の市町村の中で税の徴収率順位を確認
トップランナー方式に対応できているか？
- ・徴収率アップの具体的方策は？ 先進例は多い
- ・現年度分の徴収の重点化方策は？

- ・不能欠損処分の計画的適用は？

○義務的経費の祖移出予測を問う

社会保障関連経費の増大

- ・高齢者人口の増加 ⇒ 国民健康保険会計への繰出し増
介護保険会計への繰出し増
- ・子育て政策の質の向上と量の拡大 ⇒ 児童福祉費の増加
- ・社会的格差、独居高齢者の増加 ⇒ 生活保護費の増加
- ・扶助費の増加は政策的に抑えることは難しい。

○人件費・定員管理のあり方について問う 総人件費の考え方

(扶助費の抑制が難しい以上、人件費の削減が課題になる)

- ・定員管理の目標値（目的と効果）を定めているか。

経常収支比率の目標値を決めると、社会保障費が増加する中で、人件費の圧縮を考えざるを得ない。

↓

定員管理目標の必要性⇒「財政状況資料集（人件費及び人件費に準じる費用）」
類似団体比較

これからの公務員の働き方

政府は、残業時間の上限を設けた初めての法規制や「同一労働同一賃金」の実現などを盛り込んだ「働き方改革」の実行計画をまとめた。働き方改革実行計画別添

民間は官を見ており、公務員が率先して実行するべきであり「働き方改革」をどのように考えているかの質問が大事だ。

◎ワークスタイルの変革事例の紹介

- ・会議の無駄をなくす（長野市）

ペーパーレス会議システムで資料の準備時間や紙の使用量を削減。また、会議ルールを定め、会議の実質化と効率化を実現。

- ・照会業務のムダをなくす（札幌市）

コールセンターでの一元的な対応により住民満足度を向上させると同時に、職員の業務効率を確保。また、問合せを通じた住民ニーズの把握・反映にも寄与。

- ・窓口業務のムダをなくす（福岡県粕屋町・福岡県大野城市）

複数の手続を一つの窓口で行うワンストップ窓口を導入し、組織・設備を刷新することにより、住民満足度の向上や業務の効率化、人件費の削減等を実現。

- ・文書管理のムダをなくす（我孫子市）

文書保存や廃棄等の統一的なルールを定めることにより、検索性向上による円滑な業務執行や、保存文書の最適化による執務環境の改善を実現。

- ・現金取扱いのムダをなくす（小平市）

電子マネーによる収納を導入することにより、住民の利便性向上、現金の収納事務の効率性・正確性の向上を推進。

※スマートワークを知りたくなった時開くべき Web サイト

<https://swri.jp/article/122>

起債と基金のあり方等

自身が実施してきた、武雄市の行政改革の成果を説明する。

・平成17年地方債残高 409 億円を 110 億円削減する目標とした。平成22年では 316 億円と減少させたもののまだ道半ばである。（本人知事選立候補落選）

・平成17年基金残高 80 億円を 46 億円の積み増しを目標とした。平成22年末では 92 億円となったもののこれも道半ばである。

○行政改革プランでの主な取り組み

- ・歳出確保の取組・・・遊休財産等の売却
- ・歳出抑制の取組・・・人件費の削減、行政経費の削減、補助金の抑制

○将来に向けた課題

- ・歳入・・・普通交付税 合併支援措置の段階的な縮減・廃止。

（合併10年を経過した平成28年度より合併支援措置が5ヶ年で段階的に縮減・廃止。平成32年度で終了）

- ・歳出・・・社会保障費の増加、公共施設等の維持管理と更新、負担金の増加。

◎考察

この研修会には全国から 60 人の議員が参加していた。前佐賀県武雄市長の経験から語られた、一般質問、委員会での質問も決算カード頭に入れてすること、また、行政改革についての取組が参考となった。

当町では、財政力指数が 1.49 と高く財政的に恵まれていることから、行財政改革の取組についての議論がされていないが他の自治体では予算の確保及び行財政改革に積極的に取組んでいることが分かった。